



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ

2023年

SERVE TO CHANGE LIVES

R.I 会長 ゴードン・R・マッキンリー



世界に希望を生み出そう

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝 樹

会長 大友一之 幹事 中山賀司

クラブ会報・情報委員会 富澤剛・横山嘉孝・前原勝・川島崇史・坪井良廣

9月4日号

第3228回例会 (8月21日(月)第1例会)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 点 鐘 | 11. 委員会報告 |
| 2. 国歌斉唱 | 12. 卓 話 |
| 3. 桐生市歌斉唱 | 「新年度を迎えて」 |
| 4. 四つのテスト唱和 | 社会奉仕委員長 藤田 恵二君 |
| 5. 来訪者紹介 | 国際奉仕委員長 北川 貴久君 |
| 6. ロータリー情報アワー | ロータリー財団委員長 中村 光孝君 |
| 7. 結婚・誕生祝 | 米山奨学委員長 久保田寿栄君 |
| 8. 乾 杯 | 奉仕プロジェクト室長 平岩千鶴子君 |
| 9. 会長の時間 | 13. 点 鐘 |
| 10. 幹事報告 | |

ようこそビジター

〈米山奨学生〉 匡 姣蓉 様

ロータリー情報アワー

ロータリー情報委員長 森 末廣君
ロータリー情報アワーをお伝えいたします。
8月は、会員増強・新クラブ結成推進月間です。
さて昨年度のクラブ現況報告書を見ながら説明します。
この現況報告書は、桐生ロータリークラブの歴史が綴られていて、この冊子で桐生ロータリークラブのすべてが解ります。入会歴の浅い方は、ぜひ目を通してください。
それでは、20ページ～22ページに年度別7月スタート時の会員数が記載されています。創立時(1953年昭和28年)は、20名でスタートしました。それから、32年後の1985年(昭和60年)は、90名まで増えて、その後1991年(平成3年)には100名まで増強できました。しかしこの年がピークで、それ以降は減少が続き、2013年度(平成25年)には、59名まで減少しました。約4割が退会されました。しかし翌年は66名まで回復しました、それからは、昨年まで60名台をキープしてきました。
今年度は、70名からのスタートです。ここからV字回復し、再び地区におけるリーディングクラブとしての復活を目指していただきたいと思います。

さて、2840地区に目を向けると、地区の会員数は今年度7月時点で2005名でのスタートです。ちなみにピークは2000年7月時点の2540名で、一番減少したのは、2013年6月末で、1875名まで減少しました。その後多少回復傾向にありましたが、またここ数年減少傾向

です。
2000名を割り込むと地区予算、委員会活動費の予算が組めなくなります。どうか会員の皆さん、クラブを元気にするため、そして魅力あるクラブにするためにも会員増強をお願いいたします。

結婚祝

Randolph 留利子君
齊田 泰史君



誕生祝

富澤 剛君



米山奨学金授与

匡 姣蓉 様



会長の時間

《報告》

- ・8/1 地区大会総務委員会
- ・8/4 地区大会実行委員会
- ・8/7 休会
- ・8/9 本田 PG をお迎えしてのガバナースタッフ研修会
桐生倶楽部 終了後、懇親会
- ・8/14 休会
- ・8/19 会員増強委員会 丹羽委員長、田中一枝委員、
会長 新入会員の勧誘活動実施

《予定》

- ・例会終了後、第2回会長候補者推薦委員会
- ・8/24 親睦活動委員会家庭集会
- ・8/27 クラブ活性化ワークショップセミナー
会長、幹事、会長エレクト、松島研修リーダー、
森ガバナエレクト、須永ガバナ補佐
- ・8/28 家族合同納涼会
点鐘：午後6時30分
場所：海鮮ダイニング美喜仁館
- ・8/29 青少年奉仕委員会 家庭集会

《その他》

10月3日(火)に4RC合同チャリティコンペ&合同夜間例会が開催されますが、コンペの参加者が少ないので参加をお待ちしております。

幹事報告

- ・国際ロータリーより、ロータリーレートのご案内です。
8月は、1\$ = 141円です。
- ・ロータリーの友地区委員会より「ロータリーの友通信」が届いております。
- ・米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」が届いております。
- ・米山梅吉記念館より「館報」が届いております。
- ・日本てんかん協会より「からっかぜ」が届いております。
- ・桐生南、桐生西、桐生赤城の各RCより週報到着。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(令和5年8月21日)

総員72名:出席53名

令和5年7月24日例会修正出席率:77.3%

ニコニコボックス

館盛治君…田中淳君に大変お世話になりました/須永博之君…北川先生にお世話になりました/澤田匡宏君…お祝いの乾杯をさせていただきます/平岩千鶴子君…山崎先生に口内炎ができてとても痛い時にお世話になりました/小島隆治君…子供達の甲子園、全日本学童大会神宮球場に行ってきた。ご寄付頂きました皆様ありがとうございました。ベスト16まで行きましたが巨人阿部慎之助コーチの息子にホームランを打たれ負けました。ありがとうございました/久保田寿栄君、平岩千鶴子君、北川貴久君、中村光孝君、藤田恵二君…卓話をさせていただきます/Randolph 留利子君、齊田泰史君…結婚祝/富澤剛君…誕生祝。

卓話



「新年度を迎えて」

社会奉仕委員長
藤田 恵二 君

副委員長に増山大祐君、委員に北川洋君、澤田匡宏君、高橋弘史君となります。

奉仕活動を通して地域社会に貢献することでロータリーアンとしての自覚を高め奉仕の精神を実践していく。他団体との共同参画を促進し、ロータリークラブのイメージアップを図る事を目標とします。積極的にロータリー活動に参加して自身を高めて行きたいと思っております。

- ・清掃活動
- ・その他必要に応じた活動



「新年度を迎えて」

国際奉仕委員長
北川 貴久君

昨年までの当委員会の活動方針と内容を踏まえて、大友会長の提唱する重要事項を基本として、今日の国際情勢にあった国際奉仕委員会の活動をしていきたい。

- ・群馬大学理工学部留学生との交流会の企画運営
- ・米山奨学生のサポート
- ・新地区補助金事業への協力
- ・国際大会への参加啓蒙活動



「新年度を迎えて」

ロータリー財団委員長
中村 光孝 君

この度、今年度のロータリー財団委員長を仰せつかりました中村です。

ロータリー財団の使命とは、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることとなっています。

もう私には難し過ぎる内容となっております。ですので、前年度を引き継ぎ、からくり芝居館の修繕をやっていきたく思います。

この桐生のからくり人形について調べてみました。昭和63年に民家の蔵から木箱と茶箱に、江戸時代から昭和中期までからくり芝居を演じた人形5セット41体と舞台の設計図、他に有力な資料が見つかりました。江戸時代から昭和初期まで、天満宮の御開帳に合わせて市内の8~15町内で競って面白いからくり人形を制作し、目抜き通りで盛んに上演していたようです。

演目は浦島太郎や三国志、忠臣蔵等、活劇が多かったようです。かつて機織(はたおり)産業で栄えた桐生市では各町内に機械に強く創造力や技術がある人材が多くいる上、織り糸を操作したり、糸を入手しやすい環境だったからこそ、今に甦ったからくり人形だそうです。

300年前のからくり人形、伝統と歴史あるこの桐生ロータリークラブにぴったりの事業だと思います。

お時間ある時には、ぜひからくり人形芝居館に足を運んでみてください。第一、第三土曜日、10時から4時まで講演しております。実はそんな私ですがまだ足を運んでおりません。家族で見たいと思います。

これから一年間、大友会長をはじめとする先輩方のご指導頂きながら精一杯頑張ってみますので、よろしくお願い致します。



「新年度を迎えて」

米山奨学委員長
久保田 寿栄 君

今年度、米山奨学委員長を務めることになりました。一年間、よろしくお願い致します。

米山奨学委員会の活動は、主に2つです。

1 米山奨学会への寄付の増進

当クラブでは、米山奨学会への寄付は、会費と一緒に徴収するため、地区目標の達成は出来るのですが、

寄付の意識が低いことが問題となっています。他クラブでは例会時に寄付金を集めているところもあります。

当クラブでも、会費と一緒に徴収する以外にも、いつでも寄付を受け付けておりますので、皆さん、積極的に追加の寄付をお願いします。

2 米山奨学生に対するサポート

今年度も青木貴子会員が米山奨学生カウンセラーを引き受けて頂いております。ありがとうございます。

委員会としてもサポートしたいと考えておりますので、青木会員におかれては、サポートが必要なことがある際には委員会に御連絡ください。

※米山梅吉さんについての豆知識

米山奨学会は米山梅吉さんの功績を記念して発足しています。米山梅吉さんは、19歳でアメリカに渡り、8年間、苦学の留學生活を送りました。帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事したこともあります。その後、三井銀行に入行し常務取締役となり、三井信託株式会社を設立して社長に就任しました。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。米山梅吉さんは、日本最初のロータリークラブである東京ロータリークラブの設立メンバーでもあります。



「新年度を迎えて」

奉仕プロジェクト室長
平岩 千鶴子 君

ロータリー活動の中心となる行動は奉仕とあります。辞書引きますといくつかの説明の中に「利害を離れて国家や社会などのために尽くすこと。『社会に一する』』と出てまいります。

さて実際の奉仕活動となりますと、諸先輩方にはご説明することもございませんが、入会間もない方にとりましては、かつて私がそうでありましたようにいったいどんなことをするのだろうか？とお思いになることでしょう。

奉仕活動は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕となっています。

職業奉仕、これは私たちそれぞれが自分の仕事を通して、「世の中の皆さんにお役に立てるか」ということを実行する委員会だと思っております。委員長には、坂入悠太さんをお願いしています。大きなイベントとしては11月29日に「優良従業員表彰」がございます。その節には皆様の会社の「優良従業員さん」の推薦をお願いいたします。

社会奉仕、と言いますと現幹事の中山さんが、活躍してくださいまして、市役所と連携して、ごみ問題に取り組む、「ごみゼロ活動」、フードロス問題にも取り組み「フードバンク活動」などをおこなっています。委員長には、藤田恵二さん(本当にうってつけの方にお引き受けいただきました)そしてロータリーならではの奉仕活動、(このところはコロナのために開かれていませんでしたが)群馬大学留学生との交流会を行っている国際奉仕委員会です。委員長には 北川貴久さんをお願いいたしました。お優しいお人柄の北川さんにぴったりの委員会だと思っております。

そして、9月11日に予定されている「善行青少年表彰」を担当していただき、あっという間に、いろいろな決め事をしてくださっている青木貴子さんが、青少年奉仕委員長を務めてくださいます。青木さんは皆様ご存じの通り、やさしくて大変面倒みのよいかたです。私といたしましては最強の布陣で、今年度奉仕プロジェクト室の運営をすすめて所存ではございますが、どうぞ諸先輩からのご支援ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

また、室長を務めさせていただく、私平岩千鶴子は、個人的な社会奉仕といたしまして、日本の伝統文化であり世界遺産の無形文化遺産登録第1号の「お能」の、次世代への伝承に取り組んで足掛け3年目に入りました。皆様におかれましても、日本古来より伝承されました文化へのご理解を賜りたく存じております。

今年1年、奉仕プロジェクト室をよろしくお願い申し上げます。